

桶川駅東口周辺地区の整備に向けて



昨年は、駅通り及び中山道（駅通りとの交差点部分）の整備事業が認可されたほか、駅前広場整備事業に関する権利者の皆様にご協力をいただき、必要となる用地の取得を進めることができました。誠にありがとうございました。

本年も昨年に引き続き、駅東口の早期整備を目指して事業に取り組んでまいります。どうぞよろしくお願ひいたします。

○駅前広場の整備について～用地の取得も進めていきます～



平成26年度から本格的に事業着手し、これまでに、事業の対象となっている用地のうち約45%を取得することができました。今後も事業の完了に向け、用地の取得に努めてまいります。

○駅通り(駅東口通り線)の整備について～事業認可されました～

平成27年10月に、県道である駅通りと中山道（駅通りとの交差点部分）の整備事業が、国土交通省関東地方整備局長より認可されました。

この事業により、駅通りは道路幅を20メートルに、中山道は駅通りとの交差点部分を



(駅通り及び中山道の事業対象区間位置図)

中心に、南北148メートルの区間を道路幅16メートルに、それぞれ拡幅整備されます。

同年11月には、整備事業に関する権利者の皆様を対象とした説明会も開催され、すでに中山道沿線の用地測量が進められているほか、今後は建物などの調査も順次行われる予定です。

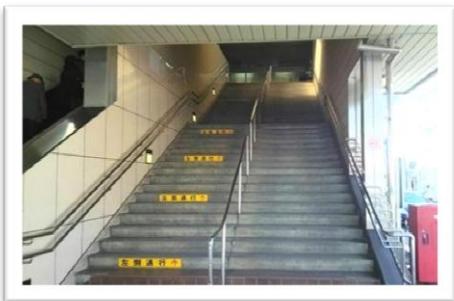
市が先行して進めている駅前広場の整備事業とあわせ、早期完了を目指し埼玉県と協力して事業を進めてまいります。

○地区のまちづくりについて

～エレベーター等の設置に向けた基礎調査の実施～

桶川駅東口の自由通路につきましては、桶川駅を利用されている多くの市民の皆様から、エレベーターの設置についてご要望をいただいています。

自由通路へエレベーターなどを設置するためには、主に技術的な面で様々な課題が想定されることから、昨年3月から12月にかけて、駅舎及び自由通路等の現状を把握するための基礎的な調査を実施したところです。



現在の桶川駅東口自由通路

今後はその成果を踏まえ、引き続き関係機関と協議を進め、エレベーター設置の早期実現に向けて見通しを立てていけるよう努めます。

市民の皆様にはご不便をおかけしておりますが、ご理解いただきますようお願いいたします。

●配布しているお知らせや駅東口周辺地区の整備に関することなど、ご不明な点がございましたら、下記までご連絡ください。

【桶川市駅東口整備推進課】

所在地 桶川市寿一丁目6番17号

電話番号 048-783-2526

E-Mail ekitouseibi@city.okegawa.lg.jp

業務時間 午前8時30分から午後5時15分まで

(土・日・祝祭日及び年末年始を除く)



桶川市マスコットキャラクター オケちゃん

「駅東口通り線及び仲仙道線の拡幅事業に関する説明会」 の中でおいたいた主な質問を紹介します

【開催日】 平成27年11月25日（水）・27日（金）・29日（日）

【説明者】 埼玉県北本県土整備事務所

【会場】 桶川市駅東口整備推進事務所

Q) 東口の開発は地元住民の悲願であり、今回認可された部分についても、一刻も早く整備を進めてほしいと思っています。事業に必要となる予算はいつ具現化されるのでしょうか。

A) 今年度すでに予算化しています。平成27年10月に、国から事業認可を取得することができました。今後、順次事業を推進してまいります。

Q) 所有している土地や建物がどうなるのか、今後の事業スケジュールを教えてください。

A) 中山道の沿線につきましては、まずは用地の測量を行い、ご所有されている土地の面積や形状のほか、どこまで拡幅される道路の計画線に含まれるのか、などを調査いたします。

また、建物や工作物が道路の計画線に含まれている場合は、用地測量の後に、建物等の調査も行います。

なお駅通りの沿線につきましては、すでに測量が完了していますので、ご承諾をいただけた方から順次、建物等の調査を実施いたします。

Q) 用地測量の境界確認は、いつ頃行う予定ですか。

A) 中山道沿線の用地測量につきましては、2月頃に隣地との境界を確定するための立会いを行う予定です。文書で日時等をお知らせさせていただきますので、ご面倒をおかけいたしますが、ご協力のほどよろしくお願ひいたします。

Q) 道路の整備とあわせて、駅東口周辺の公共下水道も整備されますか。

また、南小跡地（ことぶき広場）の利活用方策は考えていますか。

A) 駅前広場や駅通りの整備にあわせて、公共下水道の幹線も整備する予定です。この幹線に、南小跡地や駅通り周辺の、現在公共下水道が未整備の地域が接続することになります。

南小跡地をどのように利活用していくのかにつきましても、公共下水道が利用できる状況になれば、より具体的な検討が可能になると考えています。

※桶川市回答

Q) 埼玉県が道路整備を進めるとのことです、道路の整備と並行してまちづくりも考えていくべきではないですか。

A) 駅東口のまちづくりにつきましては、土地利用や地区内道路などの考え方を整理したうえで、案となるたたき台を作成し、かわら版等でご案内させていただいたところです。

これまで計画を作ることばかりが先行し、駅東口の整備は一向に実現しませんでしたが、現在進めている駅前広場の整備も含め、まずは出来るところから一歩ずつ進めていきたいと思います。 ※桶川市回答

Q) 既存の商店が移転できる方策を積極的に考えてほしい。

A) まちづくりのビジョンを桶川市が作成していますが、道路の事業を進めるに当たっては、市のまちづくりと連携して進めてまいります。

事業を進めるうえでは、皆様それぞれのお考えやご要望などをお伺いさせていただきますが、補償の内容をお示しできれば、将来の具体的な検討が可能になるかと思いますので、まずは建物調査等を行わせていただいて、その結果を皆様それにお伝えしていきたいと考えています。